

ウィズ（共に）

With

くまもと障害者労働センター &
あきた共同作業所 通信
1996年9月号

〒862
熊本県熊本市保田窪本町5-29
TEL・FAX 共通
096-382-0861

今年も紙あきで参加

24時間テレビ

24時間テレビに参加しての感想

8月24日、25日にサンロード新市街で紙すき実演がありました。私は、去年土日にて紙すき実演しましたが、今年は日曜日だけで紙すき実演をしました。

去年の24時間テレビの募金するステージには、井上晴美さんでした。今年の募金するステージには、マラソン選手の松野明美さんでした。

通りかかった方に紙すき実演をしませんかと声をかけていたら、子供達が近くにきたので、私が、ハガキを作るのを教えるので、子供達にするねと言ったら、ハガキを作ると言ったので、私もハガキを作りながら教えました。

夜の7時30分からフィナーレ「サライ」の歌を練習しますのでKKTの方が、集まって下さいと言われたので、ステージに行きました。そして本番が、7時45分～8時までありました。私は平島浩美さんにつられて泣きました。

最後に松野明美さんから貯金箱にサインしてもらいたかったけれど、マジックをもっていなかったのは残念でしたけれど、握手をしてもらったので、とっても嬉しかったです。

24時間テレビにでられた方、紙すきの手伝いをされた方おつかれさまでした。ありがとうございました。

市瀬 恵



2日目の夕方、ステージで久島が、かみすき実演が今年も順調にでき、参加者も多かったことを報告、熱い拍手に包まれて涙ぐみに。

紙すき部門設備充実！

センター紙すき部では、生産性を上げるために設備・機械の導入を図ってきましたが、この程ほぼ一段落しました。

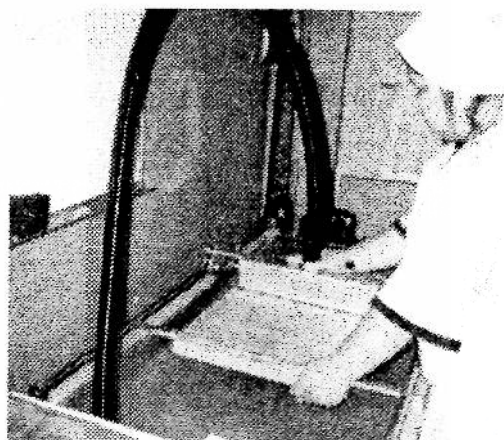
現在作っている製品は、チョコレート店に納めているハート型メッセージカードと、3枚一組100円とお得な価格で売り出しているセンターオリジナルはがきです。メッセージカードの方が作れる枚数も多く（1日の製作量：メッセージカードなら100～120枚、はがきなら50枚前後）、主力商品ということになります。

しかし、このたびの設備導入によって、はがきの製作枚数が飛躍的に増加しました。半日で200枚以上作れるようになったのです。以前は一枚一枚すいていたところを、10枚用枠の使用で一度に10枚すくことができます。水切りは、バスタオルの上に置いてハンドローラーを転がして

いたところを、今はバキュームによって水を吸い上げます。ローラー付き水切り台が、掃除機を改造したものと組合わさっていて、そこで水を吸い取るのです。そのあと、板に接着させて1日～2日自然乾燥後、仕上げ用の機械「ミニローラー」でぱりっと仕上げます。この「ミニローラー」は4月から既に入っていますが、それまではハートもはがきもアイロンをあてたうえ、ブロックの重石にかけていたことを思うと、かなりの省力化になっています。他に、紙すき液が大量に作れる大ミキサーも



10枚のはがきが一度にすける枠で紙すき大量生産(?)の第一歩



バキュームで水を吸い上げる作業。掃除機とつながっている

**紙すきボランティア
大募集！**

一枚すきとはまた違う、十枚すきのダイナミックな手ごたえを楽しみませんか？

???の人、来て見てみて！！

お問い合わせは

「くまもと障害者労働センター」へ

TEL 096-382-0831

導入しています。

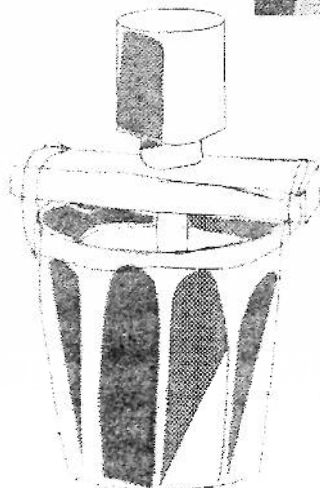
今や、はがきについては、1日1000枚も夢ではない！

今後の主な課題としては、

- ① 生産量を上げるための流れ作業を可能にする人手の確保。
 - ② 品質を上げるための技術の向上（職人技です）。
 - ③ 必要量が増大する材料の確保。
 - ④ はがきの販路の開発・拡大。
- 等です。

以上、さらに努力を重ねていきたいと思っています。また、①③④項については、皆さんのお力添えを頂ければ幸いです。ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

仕上げ用ローラー。なぜか「ミニローラー」という品名。これでアイロンは用なしに。



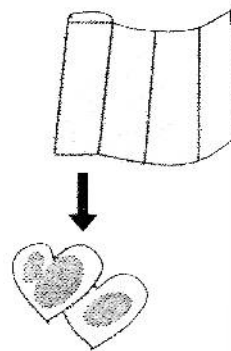
大ミキサー
上部のモーターが
先端に刃のついた
心棒を回す

茶色の紙パック 大歓迎

ジュースやウーロン茶の紙パックに茶色のものがありますが、引き取り先がないので、しかたなく捨てている方もおられるのでは？！

どうぞ、当所紙すき部へご寄付ください。

かわいいハートのメッセージカードに生まれ変わって、チョコレート屋さんでお役にたちますヨ。



ビニールはご作業はまだまだ手仕事ですが、これからも頑張ります。

九州地区同和教育研究大会販売

8月27日・28日の両日に亘り、佐賀県で九州地区同和教育研究大会が行われました。われわれ労働センターは物品販売で倉田代表と私が行ってきました。当日は、朝が早かったため5時には起きて長嶺の家から労働センターまで来ようと思っていましたが、ちょっとしたアクシデントがあり、福祉タクシーでやって来ました。6時30分位に県同教の今坂先生が迎えに来られたのでその車で佐賀へ出発しました。病氣復帰後初の県外販売でしたので、体力的・精神的に不安はありましたが、

「ここまで来たら、やるっきゃない」という思いで佐賀へと車は出発しました。高速に乗ると眠気がさしてきて、ちょっとばかり眠ったら元気が出てきました。今回は車椅子を持っていかなかったもので、歩きました。普段、あまり歩かないので辛かったです。全体会場につき、販売に取りかかりました。今回の主な物品は、今年3月に発行した労働センター10周年記念誌「しょうがいしゃ宣言」です。この本は、昨年10周年を迎えた労働センターが一年間をかけて5名の方に講演をしてもらったものを集録したものです。障害者が地域の中で一人の人間として幸せに生きる権利や、人間の尊厳について、また「障害」者問題を解決していく教育・啓発・社会のシステム作り等々、その理論と実践の道筋を提起されています。とても中身の濃い本なので持っていった部数は完売させようと頑張りました。頑張ったというよりも私の場合は、『気楽にやろう』という思いで座っていました。しばらくすると、各県の先生方が「しょうがいしゃ宣言」を徐々に買い求めてこられました。徐々にではありましたが、本だけではなく、その他の品物も売れ始めました。売れ行きが良かったので、「もしかすると」という期待感が生じてきました。

初日は昼食後、販売を二手に分けました。倉田代表と県同教の長谷川先生が全体会場で、私と今坂先生が「障害」児教育分科会で販売に取りかかりました。販売をしながら、「障害」児教育分科会の実践・報告を聞いていましたが、現在の養護学校の在り方や、普通学校での特殊学級での障害児の教育の在り方について論議されていましたが、障害を持った児童と教師との関係、地域の中での生き方などを話されていましたが、同和教育の観点から見ると被差別部落の問題は論議されませんでした。『同和』というところから考えてみると、障害者問題も部落問題も最終的に行き着くところは差別

をなくすための同和教育なのではと思いました。そういうことを考えながら初日の販売を終えました。

夕方になり、夕食を食べに外に出ましたが、炬燵焼きの店でした。当然のことながら、アルコールが置いてあります。10数名の先生たちと店の中に入りましたが、部屋が2Fだったので階段を昇りましたが、あまりにも急な階段だったので先生たちに支えてもらって2Fの部屋まで行きました。早速、飲み方が始まりました。もちろん、私は飲めませんので、ウーロン茶で乾杯しました。周囲の先生たちが、おいしそうに飲んでいるのを見て本音を言うと飲みたかったのですが、気楽な気持ちで

「何も今日飲まなくても、いいじゃないか。飲みたくなったら、明日飲めばいいじゃないか」という長い気持ちでいたら、飲まずにいられました。それどころか部屋中にこもったアルコールの匂いで酔っ払った状態になりました。その後、腹がすいていたのでラーメン屋に入りました。そこでも、ビールを飲まれていたので飲酒欲求が湧いてきましたが、ラーメンを食べてしまったら強烈な飲酒欲求も消えていました。ホテルに帰る時は、両足が棒のようになっていて歩くのに苦労しました。ホテルに着いたとたん、ホッとしました。さすがに疲れていたのでしょうか、睡眠薬を飲んだらすぐ眠ってしまいました。

翌日、朝食を取り、分科会場にむかいましたが、足が痛くて思うように歩けませんでした。早速販売の用意に取りかかり、分科会の総括討論を聞いていましたが、私が思ったことは、障害者の生き方や村の人たちの生活状態などを当事者の生の声を聞きたいなあとと思いました。最後の方で倉田君ともう一人仲間が発言したことにより、分科会も締まったように思えました。私も発言しようと思っていたのですが、時間がなかったのでヤメました。九同教大会も無事終わり、熊本へと帰路につきましたが持っていった物品もほとんど完売していて、帰ってくるのに気持ちが良かったです。なかでも「しょうがいしゃ宣言」が完売したことは、私にとっても労働センターにとっても非常に良かったと思いました。

私事ですが今年の夏を乗りきれたことは、自信ができました。24時間TVにも元気に参加できたし、TVにも出ていたそうだし、あらゆるイベントにも参加しているし、これもみなソプラエティを持続しているからだと思います。これから先もどんどん参加していきたいと思います。が、病気が病気ですからあまり無理をせずに自分の体調に合わせてやっていこうと思います。

久 島 雅 樹

一甲宜男

生き物を殺して食うなんて

それは家の手伝いであつた。食べ物がありなかつた戦前、戦後のことである。白川の河川敷地を開墾し野菜や芋を栽培したり、にわとりを飼つたりしていた。父に「赤紙」が来て出征した後は、母がその仕事を主にしていたのだが、私にも多くの仕事が回ってきたのである。友達が遊びに来て、手にくわを持ち土をたがやしたり、水をやったりするのである。特にひどい仕事が糞尿のくみ取りであつた。母と二人で「コエダゴ」に糞尿を便つぽよりくみとり、てんびん棒に担桶を通し二人でかつぎ畑へはこび、たらたらと野菜の根元近くにかけるのである。次にひどい仕事にわとりを「つぶす」ことである。正月前・お盆前になると、おごちそうの食材としてにわとりの肉をいただくのである。家に飼っているにわとりなのだ。えさをやる私にコッココッコッココッコとついてきて、なれっこになっているにわとりを殺すのである。二本の足をしばりさかさにつるし首を切る。血がシャーッと下に置いたおわんの中へたまり、またたくまにその血はどろんとかたまっていく。毛をむしり取り、うぶ毛を焼き体を洗う。ここまでが小学生だった私の仕事である。次に母が手羽や足。ももととり、腹部を開くのである。するとそこからぶどうのような黄色の玉がいくつもつらなっているのが現れる。

「卵だ！」お尻に近い方の玉が大きくしだいに小さな玉になっていく。一番大きいのが、あした卵になって出てくるものだとなり、えらく感動したものである。ぐにやぐにやまわりまわっている腸を長く伸ばし、切り、はしを入れて、くつ下をぬぐようにひっくり返していく係は私である。

もうその時は、あと何ときか後に私の口の中に入る。おいしい肉料理に舌なめずりをしていたのである。

こんな話を教壇から子ども達に話すと
「先生はムゲー」「鶏はカワイソカー」「ザンコク」と
私に批難の声を上げるのである。

.....

給食時である。先生は食べながら、子どもたちに、今、食べている食材を発表させる。先生はそれを、四つ切りのカードにフェルトペンで書いて、かべにはりつけていく。十日もすぎるとほとんどの食材がでそうろう。そして時間をたっぷりって考えていくのである。

イメージ学習だ。黒板にいっぱい並んでいる食材のカードを「生きていたもの」に○をつけていくのである。最初に出てくるのは、「肉類」や「魚類」次に「根菜」「果物」「こく物」「芋類」「とうふ」「パン・ケーキ」「牛乳・乳製品」などの加工品。それに調味料も。もともと、生き物であったことに気づいていく。

すると、水と塩以外はすべてに○がついたのである。

先生は、たずねるのである。「この中で一番好きなのは？」と。ほとんどの子供達が「肉類」なのである。

「じゃ、牛さんを頭に思い浮かべよう、にわとりさんを思い浮かべよう……。そしてそれが、みんなの口の中に入るまでを……。」と。

「生きていた姿を思い浮かべるんだよ。さあ、肉になるには、牛やにわとりをどうなるんだろう」

すると、心のやさしい山本さんは先生の目をじっと見たまま、彼女の大きな目から涙を出し始めたのだ。男の子の元気さんが言った。

「殺すとたい!」、次々に「ムゲー」

「オラ、もう肉は、クワンソー」

「生き物ば、くうなんてカワイセー」と言っていく。先生は、ここぞとばかりハッパをかける。

「そうだ、かわいそう、ムゲーと思う人は今日から肉も魚もご飯も食べないことにしよう。」

「バッテン、クワンなら死ぬったい!」

.....

涙を流した女の子も、生き物は食わんといった男の子も、次の給食は何もなかったように食べてしまったのである。それからである。

「生き物のみなさん、いただきます」と言って、食べるようになったのは。



僕を変えた出会い

福原隆博

僕の名前は福原隆博と言います。

松橋の養護学校を卒業後、天草の授産施設で仕事に就いていた僕がここ山鹿にやってきたのは、昭和63年、9年前の事です。

山鹿に来てからの僕と、それまでの僕を比べると何かが変わったような気がします。

それは単に生活環境が変わった、と、いうだけではありません。それまでの僕ときたらネクラの引っ込み思案で、およそ人と関わるのが大の苦手だったからです。つまり、こんな所でこんな風に皆さんとお話することなど、とても信じられない事だったのです。それがいつの間にかTVに出るのが大好き、目立つことが何より大好きな人間になっていました。きょうは、そんな風に僕を変えてしまった、いくつかの出会いについてお話ししようと思います。

まず一つめの出会いは、僕がお世話になっている障害者の施設、愛隣館での事です。出来たばかりの愛隣館の中庭で、杉山君は毎日のように電動車椅子の練習をしていたのです。僕より年少で、しかも障害も重い彼が取り組んでいたのは、電動車椅子のスラロームという競技でした。コースアウトの失敗にも暑い陽射しにもめげず、懸命に練習を繰り返す彼の姿は、それまで「スポーツなんかできるわけがない」と思い込んでいた僕の心を大きく変えたのです。その日から、僕の電動スラローム競技へのチャレンジが始まりました。練習練習の毎日が一年程続き、平成1年5月には、北海道で開催された全国大会に出場できるまでになっていました。もちろん、スポーツを出会ってくれた、あの杉山君と一緒にです。

その次の出会いは、電動車椅子サッカーとの出会いです。

先の全国大会に参加した僕は二つの事を学びました。一つはスポーツの素晴らしさであり、もう一つは、世の中には体力や能力に応じた様々なスポーツが存在する事です。その経験から、僕はスポーツに興味のある入所者に呼びかけ、愛隣館にスポーツクラブを作る事にしました。それは僕がスポーツを通して得た感動を、少しでも多くの仲間と分かち合いという気持ちと、障害が重い人も軽い人も一緒に楽しめるスポーツを創り出したいという思いからでした。お手伝いして下さる指導員さんと何度も話し合った末、誕生したのは電動車椅子サッカーなのです。電動車椅子を使用する事と、コート広さ、それに人数を除けば、普通のサッカーとルールはほとんど変わりません。スリルとスピード感のある楽しい競技です。

3番目の出会いは、車椅子マラソンとの出会いです。

陸上競技のマラソンと同じ様に、車椅子の世界にも42.195キロを走る競技が存在する事は知っていました。しかし、それまで満足に車椅子を漕ぐ事も出来なかった自分と、車椅子マラソンを結びつけて考えたことなど、ただの一度もなかったのです。その車椅子マラソンと僕とを結びつけてくれたのが、熊本機能病院のソーシャルワーカーをなさっている山本行文さんでした。皆さんの中にも御存知の人がいると思いますが、車椅子マラソンの日本チャンピオンである山本さんは、憧れの人だったのです。その山本さんが愛隣館の文化祭に講演にやって来られる事になったのです。こんなチャンスは二度とないと思った僕は、講演をなされていた山本さんに思い切って尋ねてみたのです。僕の質問に「僕にでもマラソンが出来るようになるでしょうか?」というものでした。山本さんの答えは「努力を惜しまなければ出来ます。頑張ってください!」ということでした。山本さんの答えに励まされ、早速、その日から、僕の練習が始まりました。練習とは、それまで後ろ向きにしか進む事の出来なかった車椅子を、前向きに漕ぐ事でした。始めてから1ヶ月はどうにも動かなかった車椅子も、2ヶ月目になると蝸牛並に進みはじめ、それが3ヶ月目には亀ほどになり、半年ほど経ったときには、どうにか車椅子を前に漕ぐ事が出来るようになってきました。42.195キロを走り通す迄にはまだまだ道のりは遠いですが、いつの日にかマラソン大会に出場し、完走する事が出来ると信じて練習をしています。

杉山君の練習する姿に出会わなければ、電動スラローム競技に挑戦する事もなかったし、愛隣館の仲間と出会わなければ車椅子サッカーに出会う事ありませんでした。また、同じように、山本さんに出会わなければマラソンを始めようなどと思わなかったと思います。

山鹿にやって来て、人と出会い、人との出会いが、僕とスポーツを出会わせ、僕にスポーツの素晴らしさと可能性を教えてくれたのです。そして、スポーツがネクラで引っ込み思案だった僕を、明るく、前向きで、何事も途中で投げ出さない性格へと変えてくれたのだと思います。“一期一会”という言葉があります。人と人の出会いは偶然のようなものでもあり、また、縁と呼んでも差し支えないような必然でもある様な気がします。大切な事はその出会いをいかに貴重なものにしていくかという事ではないでしょうか?

皆さんも、これから沢山の人と出会い、多くの経験を積む事だと思いますが、そこで学ばれる事は、人生で最も大切な財産の一つとなるでしょう。

どうぞ出会いを大切にしていって下さい。

..... 福原隆博さん

以前、当センターに在籍していた。山鹿の「愛隣館」に移り住み、電動車いすサッカーチームをつくる。選手として活躍し、全国大会にも参加した。また、近隣の小中高校から依頼があれば出かけていく、講演活動をおこなっている。

おてもやんだより～昭男君に載せて～

松田 美知子

今年も海へは行けなかったけど、CPのみっちゃんて浮き袋ではありますが、泳ぐシーンを描き、小説で海辺の風景を書いて充実した夏休みを過ごしました。

なぜって文章がイマイチだったのが嘘の様にすらすらゆく様になり、他人のレジャーなど気にならず、ひたすら我が道を突っ走っています。元々詩が好きで入った文学ですが『昭男君に載せて』は元手は僅か、大幅な赤字で今月やっと終わり、胸を撫でおろしています。

その出版は『知性と感性』を主宰される上田幸法先生がよく利用される印刷所でしたが、どうしても金の都合ができず、預けたままで二年経過してしまいました。気にはなっていたのですが、貸す人はなく、日の出を見ず埋もれるのかと諦めていましたところ、「大事に保管してありますから持ってきます」と、涙が出るほど嬉しく、奥様にお礼を申し上げました。唯、何分に親には内緒なので、お上がりくださいとも言えずご無礼いたしました。

離婚のときいろいろうさい世間に業を煮やして胸のもやもやを解消しようと思いました。それに一粒種の昭男の思い出になればと、暇をみつけては書き溜めた詩が本にできる程になったのを機に、宮川港さんの『機関車のある風景』の裏に印刷されている出版所と住所を頼りにタクシーに乗り、運転手さんが「住所はここだが？」と道行く人に尋ねては迂回して、やっと着いた鍋田印刷所ですが看板がない？のです。こじんまりとした平屋建ての奥棟は住宅になっていて、道沿いに作業所がありました。入ると応接間にソファが置いてあるガラス戸越しに印刷機械が二、三台あって、その中で肌着の親父が扇風機の前で一息しながら日配りをし、段落したのかスイッチを切りました。

私を見ると、誰でも可哀想と思うのですが、意外そうになにか？と聞かれ「上田先生のように本を出したいのですか？」と尋ねました。そこで宮川さんの本を出しますと「上田先生のねえ」と目を細めました。その間、奥様が「看板がないから判りにくかったでしょう。みなさんお困りになります。」商業主義ではなく、信頼で客が来る事を強く意識させられました。定年退職後、職なしでぶらぶらしている父を見ているので、斯うして夫婦仲良く働いている姿を見ますと羨ましい限りです。そして書斎には机があり、何冊かこづまれ、真ん中の書く所が空いています。その傍の瀬戸物の火鉢が、どこか古風な物書きを想像させますが、売れない出版物が部屋の端々に束ねてあり、ちょっと失望もさせられました。でも詩人とか小説家というのはこんな暮らしなのかも知れないと“蜜柑”の龍之介を思い出したのも正直な気持ちです。

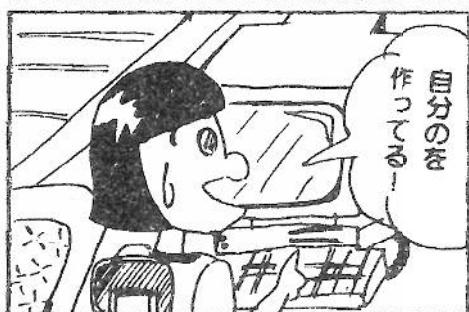
その先生との話は途中、刑務所から出所者の保護官をしている先生に電話があり、忙しそうで挨拶ぐらいで終わりました。そして歸りに何冊かの本を貰いましたが、思い出深いのは水俣病者の詩と塀の中の囚人の人達の詩です。その時はなぜ？

と疑問に思ったりもしましたけれど罪を犯す時は物欲とか理性を失いやっても時間がたてば反省もして實篤の“一個の人間”を名のる詩が載せられていました。若き日に水俣に行き悲惨な患者さんを見ているだけに、こういった文章で自分の心境を表す事は有意義な手段です。

CPの みっちゃん



作・まつだみちこ

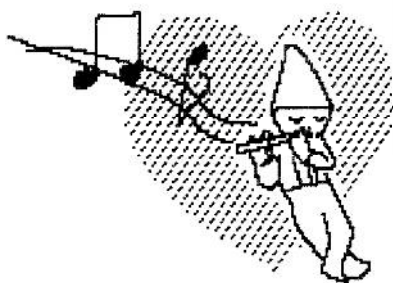


しかし、人はなぜこうも複雑な多岐を好むのかなと管理職を嫌い、県庁を辞め、弱い立場を文学で支える氏にささやかに声援を送ると共に、普通に勤めていれば人並み以上の生活が保護されているのに、モッコスを通す勇気と決断力を褒め称えたいのです。それから二度程お伺いしましたが、その本の同人になるには五百円が必要なため入会することができず、ただ、詩を見て貰い「それだけ文学哲学ができあがっているなら頑張らなさい」と励まされた思いでしたが、本を開いて読んで見ると「まるでプロなみに文章がうまくできあがっている」其の錚々たるメンバーですが、希有の個たる文学は面白く私などためらったぐらいです。それから半年後の秋先の頃、同じ地区の鍋田印刷を訪れているのです。親父はこの詩を読んで「『男よ、みずからの意志で妊でござんなさ』カーラにしたかろね」と言い、私はそれに答えて「ええ、勿論ですが、販売ルートを…」自信がないと黙ると「よしや、私の息子が新聞社に勤めとるから、その方は任しときな」とあんじょういく塩梅となり、かなりの年配の奥様の運転に恐縮しながら帰りました。あの時、一緒に乗った娘さんのお孫さんは大きくなられたでしょうね。家で細々とやる看板なしの印刷屋なんて心温まるでしょう。？今も私は上田先生ではないけれど、そんなしがたい地方の物書きでありたいと願っています。

つづく —

この夏の出来事

平 島 浩 美



この夏は昼でも最高35℃位真昼のような暑さとなりました。7月20日はアトランタ五輪を皮切りに、8月8日～21日まで全国高校野球があったり、スポーツラッシュの熱戦でした。

8月14日、台風12号の影響で、JRは全面ストップで、仕方なくバスで行きましたがハートフル・ムービーは予定通り行われましたが、人数が少なくてさみしかったです。8月24日・25日、24時間TVも参加することができました。中でも赤井さんのリレーは、武道館までのゴールはちょうど8時前のゴールができて、大喜びでした。8時05分『サライ』の合唱は、この歌が始まってから、泣かずに歌いあげました。番組が終了してから、

番組が終わったとたん、とうとう泣いてしまいました。

最後に、朝・晩は涼しくなり、昼は30～35℃まで真夏のような暑さで仕事ができ、夏バテもしなかったし、ちょっと具合が悪かったけど負けずにこの夏を乗り切ることができました。





ハートフルムービーのご案内

開催日 **11月10日(日)**

入場無料

午後2時～4時

会場 **龍田市民センター**

（国道57号線沿い武蔵塚公園隣り・駐車場有り）

8月14日に開催しました第4回ハートフルムービーは、たくさんの方にご協賛やチケットを買っていただきながら、台風の影響で、当日ご来場できなかった方も多かったことと思います。そこで今回はお礼とお詫びの気持ちをこめ、無料で映画を楽しんでいただこうと「ミニハートフル・ムービー」を企画いたしました。



上映作品

息子

1991年度キネマ旬報ベストテン第1位

- キネマ旬報・日本映画監督賞／主演男優賞
助演男優賞／助演女優賞受賞
- 監督／山田洋次 主演／三国連太郎
助演／永瀬正敏 和久井映見



父は岩手のかやぶきの家に一人住み、農業を続けている。息子は東京でアパート暮らし。フリーアルバイターから鉄工場の工員になったばかりだ。彼には結婚を考えているろうあ者の恋人がいる。ドラマは、父親と息子の男の関係を淡々と突き放した視点で描く。反発し、いらいら、最しくづつかりあひもするが、いつしか親子という枠組みを超えたところで、人間どうしとして理解しあっていく。

センターお奨めの映画です。

主催・お問い合わせ

くまもと「障害者」労働センター

☎096・382・0861

どなたでも
参加できます
ぜひ皆さん
おいください。
秋の武蔵塚公園も
いいですよ！

熊本シネマランド

18

編集協力・キネコム

(熊本に映画博物館を創ろう会)

新 居酒屋ゆうれい



“あの世の女房vsこの世の女房”。

い〜よなアイ男は。若くて美人で気のきく女房がいるってーのに、死んだ恋女房までが、愛する旦那を忘れられずに化けて出て来るってんだから。'94年の前作「居酒屋ゆうれい」で日本アカデミー賞の各賞を総ナメ! 今秋、新装開店した居酒屋「かつさ屋」が、ご来店をお待ちしています。

エグゼクティブデジジョン

快適だ、安全だ、といわれている空の旅だけど、ひとたび事故が起こればヤッパリ怖い。たとえばハイ・ジャック!これは、地上8000mの密室で起こる最大級のアクション・スペクタクルだ!本当に飛行し



ているように見える747型ジャンボの臨場感がスゴイ!シートベルトをしっかり締めて見なくっちゃ!主演カート・ラッセル、スティーブン・セガール。(11月2日〜)

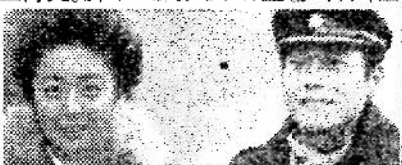
宮澤賢治 —その愛—

誰でも一度は耳にしたことがあるでしょう。

「雨ニモマケズ、風ニモマケズ」このあまりにも有名な詩と共に、日本人の心の中に生き続ける宮澤賢治。その生誕100年を記念して松竹が総力を挙げて製作。「奇跡を起こす聖人ではなく、愛を謳う人間」宮澤賢治像に迫ります。

主演は三上博史。脚本・新藤兼人、監督・神山征二郎。

寅さんの39話と2本立。



素顔のままで



デミ・ムーアが職業ストリッパーを演じて話題に。「ヌードになるということは心と体から余分なものを取り払って素顔を見せるということ」だそうでストリップ・ダンスのシーンがタツブリ。しかし、次々と身边に起こる殺人事件。そして彼女は元FBI出身! 麻薬や難民、環境汚染など複雑にからんだ犯罪に、文字どおり体を張って挑戦する。

わが心の銀河鉄道—宮沢賢治物語—



こちらも生誕100年記念。緒方直人の主演でファンタジー豊かな賢治童話を展開します。自然と語り、宇宙を夢み、なによりも人々の幸福を願った賢治。芸術に、科学に、宗教に、農業に打ち込み理想に燃えた賢治。最愛の妹・トシの死に号泣し、その心象風景を「銀河鉄道の夜」へと昇華させていきます。

主演・緒方直人、監督・大森一樹

ザ・ファン

ファンがスターをつくるのか、スターがファンを生み出すのか。ともかく、ファンがいなきゃあスターじゃない! そして、スーパー・スターには熱狂的なファンが! その憧れが憎しみになるとき一転して恐ろしい存在に。

「タクシー・ドライバー」でみせた、ロバート・デ・ニーロのリアリティ溢れる“狂気”が再び始まる!





デッドマン・ウォーキング

このところ“死刑”をテーマにした映画が相次いで公開されている。シャロン・ストーンが女子死刑囚を演じて話題になった『ラストダンス』も真っ正面から死刑を取り上げた。この作品も実話に基づき、法とは、正義とは、人間の尊厳とは、又、国家が合法的に行う殺人行為である死刑とは何なのか…人間として逃避できない根源的な問いを投げかけている。死刑囚(ショーン・ベン)の死への絶望的な恐怖と、息子や娘を殺された肉親の悲嘆と憎悪。その間で揺れるカトリックのシスター(スーザン・サランドン)の心の葛藤。処刑台に至るまでの緊迫したシーンに引き込まれながら、加害者・被害者の真の意味での魂の救済は、果たして何によってもたらされるのか…考えさせられる。ただ死刑囚が残した最後の言葉「…人を殺すのは間違っている。それが俺であっても、あんた達であっても、政府であっても。」こそは誰にも否定できないのでは。監督/ティム・ロビンズ

Let's go to the Movies! 10月

★毎月一日は映画ファン感謝デー。★市内駐車券持参で300円割引入場可。

熊本東映	☎356-7393	あぶない刑事リターンズ～10/18	わが心の銀河鉄道・宮沢賢治物語10/19～
東宝1	☎352-1718	新・居酒屋ゆうれい～10/25	八つ墓村(金田一耕助＝豊川悦司)10/26～
東宝2	☎352-1718	ノートルダムの鐘～10/下旬	リーピング・ラスベガス10/下旬～
東宝プラザ	☎352-0952	ザ・ロック(ショーン・コネリー)～10/下旬	戦火の勇気10/下旬～
オリオン座	☎352-0953	ミッション・インポッシブル～10/下旬	ザ・ファン(ロバート・デ・ニーロ)10/下旬～
セントラル劇場	☎353-4050	素顔のままで(デミー・ムーア)	
セントラル1	☎356-3100	イレイザー～10/18	決別の街(アル・パチーノ) 10/19～
シネラックス1	☎352-3592	ナッティ・プロフェッサー～10/18	D.N.A(ヴァル・キルマー/H・G・ウェルズ)10/19～
シネラックス2	☎356-7904	ビューティフル・ガール/ジキルとハイド～10/11	ケーブル・ガイ10/12～
DENKIKAN	☎352-2121	スワロウテイル～10/11	デッドマン・ウォーキング10/12～
	★レイトショー→	KIDS(～10/4・10/7～11)	シクロ(10/14～18・10/21～25) イル・ボスティノ(11/5～8)
熊本松竹1	☎354-3611	ティーン・カップ(ケヴィン・コスナー/レネ・ルッソ)	
熊本松竹2	☎354-3612	宮澤賢治・その愛/寅次郎物語～10/18	学校II 10/19～

一期一会

たった一日だけの上映会

★「画魂」

- ・コン・リー主演
- ・10/3木 熊本東映
- ・(1)6:20～(2)8:30～
- ・日中友好協会

★「話の話」

- ・旧ソビエトアニメ傑作選
- ・10/28～11/1 Denkikan
- ・整理券必要
- ・☎381-8912

映画肥後狂句

京 小町

- ・ガメラ2レギオン襲来
- ・結構観る楽しめる
- ・イレイザー
- ・シブちゃんを強よなからんし
- ・釣りバカ日誌8
- ・寅の夜盗狙えるか
- ・ノートルダムの鐘
- ・中世のバリ生きたり
- ・寅さん逝く
- ・日本映画に穴ン突き

私の好きな映画

ノートルダムの鐘
とても心が洗われる映画です。人々がともしれば自分の私利私欲のためだけに働まがちな世を、他人のためだけに祈り、幸せを願う命を賭ける。そんなことのできる人ってなかなかいませんよ。ちやうど普通の人は違いますが、容貌の主人公カジモド、ジブシーとして役人に追われながらも心優しく人を区別することの嫌う娘エスメラルダ。この二人の奇妙な出会いと友情には暖い、わびはなく、人として本当に大切なものは心なのだと思えられました。
見て楽しいのは石像三人(体)～案なせ石像が歌って踊るのか? そんな面白いことは言いつたなし。いい味出してます。そして最後はやっぱ「正義は勝つ」のがいいですね。
— 水俣 恋する乙女 —

8月の日報から

『ろ』=労働センター・『あ』=あきた共同作業所

- 2日 ハートフル会議(ろ)
7日 営業会議(ろ)
10日 希望荘(ろ)
14日 第4回ハートフルムービー(ろ)
16日～18日 お盆休み(ろ)
22日 市同教販売(市民会館、希望荘)
24日～25日 24時間TV 紙すき実演(ろ)
27日～28日 九同教大会販売(ろ)
31日 ライン工房夏まつり(ろ)

グリーンコープ鹿児島	80.0Kg	(ろ)
グリーンコープ北	273.7Kg	(ろ)
くまもと生協	52.1Kg	(ろ)
幸田市民センター	35.2Kg	(ろ)
久木野中学校	17.1Kg	(ろ)
ヤマギシ	91.6Kg	(ろ)
鷲崎久美さん	1.6Kg	(ろ)
平島浩美さん	0.1Kg	(ろ)
グリーンコープ東	199.9Kg	(ろ)
志本さん	4.1Kg	(ろ)
宮下さん	7.4Kg	(ろ)
サンリ・菊湯寿屋	254.4Kg	(ろ)
くすりのマルコ	3.8Kg	(ろ)
大江市民センター	27.9Kg	(ろ)
古崎塗装	0.5Kg	(ろ)
ソロプチミストさくら	3.8Kg	(ろ)
グリーンコープ東	200.0Kg	(ろ)
グリーンコープ鹿児島	540.0Kg	(ろ)
物流センター	224.0Kg	(ろ)
グリーンコープ北	188.9Kg	(ろ)
くまもと生協	61.3Kg	(ろ)
ソロプチミストさくら	8.3Kg	(ろ)
小仲邦大さん	1.3Kg	(ろ)
ヤマギシ	24.6Kg	(ろ)
ハローグリーンエヴリー長嶺店	97.3Kg	(ろ)
個人	3.9Kg	(ろ)
庄司	0.9Kg	(ろ)
グリーンコープ北	360.0Kg	(ろ)
グリーンコープ鹿児島	200.0Kg	(ろ)
物流センター	426.0Kg	(ろ)
大江市民センター	17.4Kg	(ろ)
グリーンコープ北	82.1Kg	(ろ)
くまもと生協	38.3Kg	(ろ)
幸田市民センター	10.2Kg	(ろ)
グリーンコープ西	692.4Kg	(あ)
グリーンコープ南	691.1Kg	(ろ)
JA白浜支店	31.6Kg	(ろ)
JA河内支店	70.4Kg	(ろ)
JA中島支店	14.6Kg	(ろ)
大信商店	61.9Kg	(ろ)

8月分上質紙回収

『ろ』=労働センター・『あ』=あきた共同作業所

高齢者福祉総合相談センター	16.9Kg	(ろ)
ウルトラハウス	13.2Kg	(ろ)
物流センター	24.1Kg	(ろ)
久木野中学校	9.0Kg	(ろ)
ミヤデン	9.5Kg	(ろ)
古崎塗装	11.4Kg	(ろ)
熊本特殊教育学科	11.6Kg	(ろ)
熊本県中小企業家同友会	18.0Kg	(ろ)
熊本県福祉人材センター	3.9Kg	(ろ)
高齢者福祉総合相談センター	6.3Kg	(ろ)
ゲイコー	32.9Kg	(ろ)
リボンガス	2.5Kg	(ろ)
グリーンコープ	464.0Kg	(あ)

(8月27日現在)

8月のバック回収

『ろ』=労働センター・『あ』=あきた共同作業所

グリーンコープ鹿児島	430.0Kg	(ろ)
平島浩美さん	0.1Kg	(ろ)
物流センター	392.0Kg	(ろ)
大信商店	64.9Kg	(ろ)
グリーンコープ東	250.0Kg	(ろ)
グリーンコープ北	272.4Kg	(ろ)
くまもと生協	44.7Kg	(ろ)
岡田コーヒー	25.2Kg	(ろ)
熊本のいちごを考える会	9.0Kg	(ろ)
グリーンコープ東	210.0Kg	(ろ)
物流センター	476.0Kg	(ろ)

編集後記

暑さ寒さも彼岸までといわれていますが、彼岸を過ぎたら本当に朝・夕は涼しくなりました。皆さん、体調などよくお過ごしおられますか。労働センターのメンバーは、各種イベントにそれぞれが別れて参加しています。九同教販売・24時間TV紙すき実演・その他にも活動に励んでいます。8月に行なったハートフル・ムービーの際はご支援ありがとうございました。当日は、台風の影響でお客様の足も少なかったため、11月10日に熊田市民センターで山田洋次監督作品の『息子』を上映します。皆さん、ぜひ見に来て下さい。

編集長 久島雅樹